

板橋区長期基本計画審議会・要点記録

会議名	板橋区長期基本計画審議会 第13回審議会
開催日時	平成27年9月18日(月)午後1時から2時半まで
開催場所	板橋区役所北館11階 第一委員会室
出席者	<p>〔委員〕27人(敬称略)</p> <p>岡田匡令(会長)、小澤一郎(会長代理)、秋田喜代美、大森整、辻秀一、八藤後猛、相田義正、秋葉芳枝、北村秀子、下田賢司、鈴木孝雄、関口雅美樹、東名啓予、原田曠暉、深町聰子、松澤育男、柏原典雄、松村良子、陸川キヨシ、小林公彦、おなだか勝、小林おとみ、坂本あずまお、なんば英一、松島道昌、橋本正彦、中川修一(欠席:4名)</p> <p>〔区長〕坂本健</p> <p>〔幹事〕13人</p> <p>渡邊政策経営部長、岩田技術担当部長、太野垣総務部長、白石危機管理室長、藤田区民文化部長、細井産業経済部長、藤田健康生きがい部長、中村福祉部長、堺子ども家庭部長、山崎資源環境部長、杉谷都市整備部長、小池土木部管理課長(代理出席)、寺西教育委員会事務局次長</p> <p>〔事務局〕</p> <p>有馬政策企画課長、篠田経営改革推進課長、林財政課長</p>
会議の公開 (傍聴)	公開
傍聴者数	2人
議題	<p>1 最終答申について</p> <p>2 答申</p> <p>3 その他</p>
配布資料	<p>1 長期基本計画審議会(第12回)で出された意見の答申案への反映</p> <p>2 板橋区長期基本計画審議会答申(案)</p> <p>3 板橋区基本構想(案)</p>
審議状況	<p>(開会)</p> <p>司 会: それでは定刻になりましたので、ただ今から第13回目の板橋区長期基本計画審議会を始めさせていただきます。本日が最終回でございます。どうぞよろしくお願いいたします。それでは岡田会長から一言ご挨拶をお願いいたします。</p> <p>会 長: 皆さん、こんにちは。先日の大雨で鬼怒川があふれ、常総市などに甚大な被害が出ました。危機管理、減災、防災対策の重要性を改めて認識したところでありまして、本審議会ですべて議論してきた「万全な備えの安心・安全」のための方向性を再確認したところでもあります。本日は最終回でございます。答申に向けてご審議賜りますようお願いいたします。</p> <p>事務局: ありがとうございます。本日は秋山委員、佐々木委員、水野委員、杉田委員</p>

が都合によりご欠席でございます。本日は、2名の方が傍聴を希望されておりますのでご了承ください。それでは、会長お願いいたします。

会 長：審議に入る前に、本日の審議内容について事務局から説明をお願いいたします。

事務局：まず、本日の配付資料の確認をお願いしたいと思います。資料はすべて事前に郵送等で配付しておりますが、お持ちいただいておりますでしょうか。資料1は前回いただいたご意見をどのように答申案へ反映したかを説明した資料になります。資料2は、反映した結果の答申案になります。資料3は、答申案の中の「新たな基本構想」についての部分を区議会に提出する議案の形にしたものになります。後ほど答申を区長へお渡ししたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。それでは会長、ご審議のほど、よろしくをお願いいたします。

会 長：それでは、審議に入りたいと思っております。答申案について、事務局から説明をお願いします。

2 最終答申について

(政策企画課長から、資料1、資料2について説明)

会 長：ありがとうございました。前回の審議会でも出された意見等を踏まえまして、資料2のとおりまとめていただいたところです。1年間にわたって熱心に議論していただき、たくさんのご意見をいただきました。だいたい議論は尽くされたかなと思っております。もっと具体的に書いてほしい、逆にあまり具体的には書かない方がよいなど様々な意見がありましたけれども、起草委員の皆様においては、できるかぎり委員全員が納得する形をめざして、表現に苦労されたところもあったと思います。しかし、よりわかりやすく、概ね10年後のあるべき姿を表現できたのではないかと思いますし、具体的に区が取り組むべき施策については、我々が提案した「施策のあり方」を踏まえ、これから区が策定する基本計画等の中で、十分に検討していただけるものと思います。したがって、本日は最終回でもありますので、答申案については、この内容でご了承いただき、後ほど区長さんへお渡ししたいと思いますのですが、よろしいでしょうか。

委 員：(全員一致で了承)

会 長：ありがとうございます。皆様のご協力により、答申がまとまりましたことを嬉しく思います。それでは、区長がお見えになるまで、お一人ずつ感想を頂戴したいと思います。その中で、補足意見等ございましたら、おっしゃっていただければ、今回の審議会の議事録に残りますので、ご了承いただければと思います。

委 員：1年間皆様のご尽力により最終答申までたどり着くことができました。各委員の皆様には、ご多忙の中、足をお運びいただき御礼申し上げます。10年後が

どうなるかはわかりませんし、自然災害も予想できません。議会人としては、今回の答申の理念を今後の区政に活かしてまいりたいと思います。どうあれば区民のためになるか、これを念頭において尽力してまいります。本当にありがとうございました。

委員：1年間の審議会ご苦労様でした。私も含め、皆様の意見を多く取り入れていただいた答申でございます。非常に素晴らしいものができたと思っております。ただ、これはあくまでも基本計画のもとになるものですので、これを踏まえて、区民の皆様のご理解をいただきながら、行政と議会が一体となって区民のためにしっかりやり遂げることが重要だと思っております。これまでの10年間もそうでしたが、これからの10年も天変地異や外国などでの情勢不安等があると思っております。こういった大きな事態の際には、臨機応変に対応することも大切かと思っております。1年間ありがとうございました。

委員：途中から委員に就任し、出席回数が少なく大変恐縮しています。すべての区の主体が関わり合い、板橋区のために力を合わせていこうということが、きちんと表れていると思っております。あるべき姿の中でも地域包括ケアについてふれられていますが、実際には人の手が課題になります。区民の生活が充実して、板橋区民で良かったと思ってもらえるように努力してまいりたいと思っております。どうもありがとうございました。

委員：1年間にわたり、ありがとうございました。10年後といいますと、オリンピックが終わって5年が経ち、国立社会保障・人口問題研究所の人口推計でいえば板橋区民が53万人程度と推測され、高齢化率も26%という状況が現実となっているわけでございます。議会と行政が力を合わせて、板橋区のために尽力したいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

委員：1年間ありがとうございました。いろいろな意見を拝聴し、勉強させていただきました。区長の目標は「東京で一番住みたくなるまち」です。これを達成するため、基本計画、実施計画、財源と具体的に詰めていかなければならず、これから議員がしっかりと働く場があると思っておりますので頑張りたいと思っております。ありがとうございました。

委員：このまちづくりは行政だけではなく、住民の皆さんの力がなくてはできないという意識がこの答申の中に織り込まれ、次の世代につなぐ骨組みができた嬉しく思っています。ありがとうございました。

委員：30年住んでいながら、板橋区のことをよくわかっていませんでしたが、今回、委員として参加したことによって、様々なことが理解できました。今後は一区民として、住みやすく、高齢者にも子どもにも優しい区を実現するために、協力していきたいと思っております。1年間ありがとうございました。

委員：地域活動をしなが、委員として参加させていただきました。今回いろいろ勉強させていただき、この答申がぶれることなく、今後10年でこの構想が実現

されることを見守り続けたいと思います。1年間ありがとうございました。

委員：女性が安心して子どもを産み、子育てをする、これが広がっていけば、板橋区に人が増え、税収が増えることで、良い施策につながっていくと思います。答申は、様々な内容が盛り込まれていますが、良いものになったと思っています。あとはパブリックコメントにありますように、絵に描いた餅にならないよう、実現していただくことを見守っていききたいと思います。

委員：1年間お疲れ様でした。後半から参加させていただきましたが、大変勉強になりました。地域を行政任せにするのではなく、一人ひとりが協力して取り組んでいく必要性を痛感しました。どうもありがとうございました。

委員：委員として出席させていただき、勉強になることばかりでした。高齢者等に対する福祉費の割合が高いということが大変問題になりましたが、財源を増やし、全体額を減らさず割合のみ下げていただき、安心して老後を迎えられるような板橋区であり続けていただきたいと思います。ありがとうございました。

委員：1年間皆さんと議論したことが、先ほどの委員のご指摘のとおり、絵に描いた餅にならないようお願いしたいと思います。人口の減少が懸念される中、既にある多くの公共施設を複合的に使うことが重要で、また土地の使い方も多様化してきています。今後とも頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。

委員：6月から前会長の引き継ぎで数回のみ参加でしたが、非常に高度な議論に大変驚きました。子育て世代に期待をかけて、いろいろと考えていただいていることに感謝の思いでいっぱいです。これが区民の皆さんに伝われば、もっと板橋区が発展するのではと感じました。今後は区が子育てに力を入れていることを周囲に伝えていくことから始めたいと思います。ありがとうございました。

委員：これまでこうした機会は経験したことがありませんでしたので、大変勉強させていただきました。委員の皆様が非常に良い意見を出され検討し、それをまとめられる事務局も大変だったであろうとお察しします。会長もお疲れ様でございました。「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち“板橋”」というキャッチフレーズも非常に良いと感じています。この1年間勉強させていただいたことに感謝ばかりでございます。行政がこれまでこういうことをなさっていたことを全く知りませんでした。改めて感謝を述べて、終わりの言葉とさせていただきます。

委員：岡田会長のもと、熱心に議論を重ね、非常に良いものができたことを感謝したいと思います。ありがとうございました。これまでの10年間、いろいろと実施していただいたことはありがたいと思いますし、今後10年についても、住民として構想の実現に努力したいと思います。他の委員からもありましたように、絵に描いた餅にならないよう、よく検証しながら進めていくことが重要と思っています。以前、審議会の中で、これまでの10年間の検証をして、わか

りやすく区民に説明すべきであると意見を申しました。行政からは行政評価を実施しているとのことでしたが、今までにその説明を聞いたことはありませんでした。検証していることをしっかりとPRしていくとともに、進捗率を区民に開示することが重要だと思います。

委員：区民に役立つ健康活動を展開していくことの重要性を感じています。先だつての水害による被害で、野球場、サッカー場、陸上競技場が使用できない状況になっています。いくら努力してもできないことはありますが、制約された条件下でも区民に役立つ活動を展開していきたいと思っています。

委員：教育分野を中心に感じたことを発言させていただきましたが、自分の子どもが義務教育を終えようとしている中、今後を考えるうえで非常に良い機会となりました。諸先輩方の貴重なご意見をお伺いでき大変勉強になりました。1年間ありがとうございました。

委員：1年間、皆様の貴重なご意見をお聞きして大変勉強になりました。ありがとうございました。小学校の6年間は1度しかない貴重な期間です。保護者としては、少しでもより良い時間になるようにと強い思いを持っており、小学校統廃合の問題、児童館の問題等について、子どもたちのことを一番に考えて取り組んでいただければ、おのずと10年後の素晴らしい板橋区につながるのではないかと考えています。私の子どもも10年後には20歳になります。その頃の板橋区を楽しみにしたいと思います。私自身も微力ではありますが、子どもたちのために頑張っていきたいと思っています。どうもありがとうございました。

委員：後半からの参加でしたが、立派な答申ができたことは素晴らしいことだと思います。板橋区の職員は非常に頭が良く、力があると感じます。頼りにしていますし、スクラムを組んで取り組んでいくことの重要性を感じます。今後も手を組んで取り組んでまいりたいと思っています。板橋区は板橋周辺、志村と地域性が多彩です。それぞれの地域が発展し、助け合える接着剤のような役割を果たしていきたいと思っています。区職員に是非お願いしたいのは、ホームページ等を楽しんでいただき、一層区民にわかりやすいものにしていただけると良いと思います。どうもありがとうございました。

委員：1年間どうもありがとうございました。子育て、教育分野の立場で参加させていただきましたが、後半はなかなか出席できず心苦しく思っておりました。会長、会長代理をはじめ、委員の皆様のご意見がバランス良くまとめられ、事務局の皆様のご尽力により素晴らしい答申ができたと思います。それと同時に、答申の内容が具現化されて初めて共有化されるものであり、区内のあらゆる主体、子育て中のお母さん、子どもたちからおとしよりまで、皆が板橋のイメージを共有できるようになると良いと思います。今、小学校低学年の子どもたちが10年経ちますと18歳となり、選挙権がある時代になっています。教育面でも板橋区について学ぶような授業や保育が展開されると良いと思います。板橋

区は現在も子育てや教育の分野で頑張っておられますが、さらに10年後、「未来をはぐくむ緑と文化のかがやくまち」が具現化されると良いと思います。1年間いろいろなご意見をお伺いする中で、まちづくりについて学ばせていただき感謝しております。区民ではありませんが、区に愛着を持つことができました。ありがとうございました。

委員：皆様のご協力により、非常に素晴らしい計画ができたと思います。将来像の「未来をはぐくむ」に感銘を受けました。持続的に発展するという意味合いが含まれており、区民と行政が力を合わせてはぐくんでいけるようにしていただきたいと思います。区に住んでいて思うことは、生活環境と生産環境が共存していることが特徴であり、今後も大規模な工場というよりは、住宅地に工場が点在するような環境が進んでいくのではないかと思います。逆にこういった特徴を活かして板橋区らしい産業を生み出していけると思っています。私の職場は舟渡にあり、いろいろな産業が混在している地域ですが、そうした混在の強みを出せると、今後の施策の実現にも影響してくるのではないかと思います。最後に、パブリックコメントに対する審議会の考え方について、「～をします」と「～を検討します」など、語尾でニュアンスが違うことに激論を交わし、驚きを覚えました。こういったことから一つひとつの言葉が非常に重い答申になっていると思います。是非実現に向けてご協力いただければと思います。ありがとうございました。

委員：振り返ると、いつもの1年よりも短く感じます。私たちにとって最高の答申ができたことは嬉しいとともに誇りでもありますが、実現に向けて取り組む必要性を改めて感じています。特に、スポーツが文化として定着し、区民に愛され、にぎわいを創出するまちづくりを進めるために、今後も私どもでできることがあれば、一生懸命やっていきたいと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

委員：1年間はあっという間でした。毎回興味深い議論で、委員の皆様一人ひとりが何を背景に発言しているかを考える機会となりました。会長が委員一人ひとりの意見を踏まえ、区の事情にも精通しながら、うまくまとめていただいた様子を拝見して感銘を受けました。こうした場に多少なりとも尽力できたことを誇りに思います。区民ではありませんが、関心を持って板橋区を見守りたいと思います。区別の会議でも委員をしておりますので、そちらの方でも今回の会議の内容を加味して、皆さんにお伝えしながら進めていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

委員：改めて区民にもわかりやすい方針になったと思いき、皆様に御礼を申し上げます。前回の論議の中で教育に期待する熱い思いを感じ、気合いを入れ直しました。2011年、ニューヨークタイムズにキャシー・デビッドソンが、今の小学5年生が就職する頃、65%は現在存在しない職に就くであろうという投稿をしまし

た。仕事を失う失業者が増えるのか、新たな仕事が生み出されるのか、そういうことを考えますと、今後 10 年の教育は非常に大きな使命を負っていると感じます。「板橋の教育」ではなく、「教育の板橋」として教育行政に尽力してまいりたいと思っております。これからも皆様のお力添えを、どうぞよろしくお願いいたします。

委員：委員の皆様には大変お忙しい中、多くの時間を議論に割いていただき、また多角的な観点からご議論いただき本当にありがとうございました。現在、区議会が開催されておりますが、基本構想案を提出し、区議会での議決をいただけるよう準備をしているところでございます。基本構想を踏まえ、行政の責務としていただいた答申を反映させることはもちろんのこと、答申には入らなかったご意見もしっかりと踏まえて基本計画策定に努めてまいりたいと思います。また、絵に描いた餅にならないよう、職員一人ひとりが事業に取り組んでまいりたいと思っております。最後に決意表明をさせていただきます。1 年間のご苦勞への御礼の言葉とさせていただきます。本当にありがとうございました。

会長代理：会長が大ベテランで、会長代理としての職務はほとんどありませんでした。一方、起草委員会は学識経験者に 4 回お集まりいただき、ご議論いただきました。内容としては、審議会で様々な立場でのご意見が出され、ワーディングの一つひとつが意味あるものとなり、それらを踏まえて起草委員会で議論させていただきました。非常に立派な内容の答申ができたと思っております。会長はじめ皆様、どうもありがとうございました。事務局の皆様も大変ご苦勞様でした。また、答申には 9 ページ以降に「新たな基本計画に盛り込むべき『施策のあり方』」が出てきますが、基本計画を具体的に検討する段階では、縦割りを排した組織横断的な施策のあり方について、行政と各活動団体、区民、事業者の垣根をはずして、一体的なパートナーシップを組んで取り組んでいただきたいと思います。また、その次に出てくる「地域特性を活かしたまちづくり」では、基本構想の内容を具体化する段階では、地域によってそれぞれ課題や資源・資産も異なるため、それらを丁寧に掘り起こしていくことが重要だろうと思います。より良い基本計画の策定を期待して挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

会長：皆さん、ありがとうございました。お褒めもいただき、これもひとえに委員の皆様のご積極的なご参加のおかげと感じています。ありがとうございました。

2 答申

(坂本区長入室)

事務局：岡田会長から坂本区長へ答申をお渡しいただきます。広聴広報課の職員が写真撮影をいたします。ご了承ください。岡田会長、よろしくお願いいたします。

会 長：平成 26 年 8 月 4 日付、板橋区長期基本計画審議会に対して諮問された、「新たな板橋区基本計画に盛り込むべき施策について」及び「板橋区基本構想について」の意見について別紙の通り答申いたします。

(会長から区長へ答申を提出)

事務局：坂本区長から挨拶を申し上げます。

区 長：本日は、委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、長期基本計画審議会にご出席を賜り、最終答申をまとめていただきましたことを厚く御礼申し上げます。昨年 8 月 4 日に、この審議会が立ち上がって以来、足掛け 2 年にわたり全 13 回の審議会と 4 回の起草委員会が開催され、大変熱心に活発な議論が交わされたと伺っております。現在の基本構想・基本計画は今から 10 年前に策定されたものでありまして、その後、私がマニフェストで掲げました「いたばしナンバーワン」や「東京で一番住みたくなるまち」を実現するための政策を実行していくにあたっては、現基本構想・基本計画との整合を図りながら、アクションプログラムとして「いたばし No.1 実現プラン」や「いたばし未来創造プラン」といった実施計画を含む行政計画を策定してきたところであります。今回の答申の中では、現基本構想に代えて策定すべき、新たな基本構想のご提言をいただきました。このことを受けまして、新たな基本構想とその実現に向けた施策を体系的に示す基本計画を策定してまいりたいと考えております。私にとっては、3 期目にして今回初めて基本構想、基本計画、実施計画を揃い踏み・フルセットで策定することになります。皆様から頂戴した答申をしっかりと反映させて、区民の皆様によりわかりやすく、「東京で一番住みたくなるまち」の実現に向けた施策を総合的にお示ししてまいりたいと考えております。答申の起草にあたりましては、学識経験者の委員の皆様からたくさんのご助言を賜ったと伺っております。また、各委員の皆様からもたくさんのご意見を頂戴し、こうして一つの答申にまとめあげていく過程には、岡田会長にも大変なご苦勞があったことと思います。改めましてお礼を申し上げます。審議会の中でも議論があったことと思いますが、これから本格的な人口減少・超高齢社会を迎える中であっても、区が持続的に発展していくためには、ますます区の努力だけでは難しい時代になってまいります。地域で活躍されている各団体をはじめとしまして、区民の皆様、企業、事業者など様々な方々と協働・連携し、支えあいながら、車の両輪として区議会と協力しあって課題の解決にあたっていくことが肝要であると考えておりますので、今後とも、今まで以上にご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。

司 会：審議会の締めくくりにあたりまして、岡田会長からご挨拶をお願いいたします。

会 長：この1年間あつという間に過ぎました。幸い板橋区についてはそれほど大きな事件はございませんでしたが、この間、世間では様々な事件・事故が発生しており、いつでもそうしたことは起こりうるということを痛感しております。また、空気や水は隣接する地域にも共通して流れるものであり、防災・防犯を含め、安心・安全も板橋区単独では取り組むことは難しく、隣接自治体や関係団体と良好な関係を構築することを前提とすることが重要だと思えます。議会の代表である議員の方々、地域の方々、関連団体の皆様の視点の高さには非常に感心いたしました。それが故に答申がまとめやすかったのではないかと思います。板橋区のレベルの高さを改めて感じており、その分、区が高みに向かって進んでいけると感じています。出来上がった答申は、起草委員会では小澤会長代理に取りまとめていただき、皆様の意見で板橋区のさらなる発展へつながっていけば良いと思っています。なんとか13回を一度も欠席することなく、少しは板橋区のためにお役に立つことができたのではないかと思います。これも皆様の温かい忌憚のないご発言があつてこそだと思えます。今後も様々な形でお手伝いさせていただくこともあろうと思えます。区長のご発言にありましたとおり、この答申を一步一步着実に実務に変えていただけることを期待して、挨拶に代えたいと思えます。皆様、本当にありがとうございました。

3 その他

事務局：これをもちまして、本審議会はすべての日程を終了いたしました。区では本日いただきました答申を踏まえ、今後、基本構想・基本計画を策定してまいりたいと思えます。策定後は皆様にご報告いたしますので、よろしく願いいたします。岡田会長をはじめ、委員の皆様におかれましては、長期間にわたり、熱心にご議論いただき感謝申し上げます。本審議会はこれにて閉会いたします。誠にありがとうございました。

閉会

所管課

政策経営部 政策企画課 基本計画策定グループ（電話3579-2011）